

2020年6月1日

第63回群像新人文学賞決定のお知らせ

平素より弊社の出版活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。
第63回群像新人文学賞が以下のとおり決定しましたので、お知らせいたします。

◆第63回群像新人文学賞

【選考委員】柴崎友香・高橋源一郎・多和田葉子・野崎歓・松浦理英子（五十音順・敬称略）

当選作 なし

優秀作 「四月の岸边」

著者 湯浅真尋（ゆあさ・まひろ）

略歴 1982年愛知県生まれ。37歳。早稲田大学第二文学部卒。会社員。

賞 優秀作には、賞状ならびに賞金25万円を贈呈

なお、本年度文学賞の選考会は新型コロナウイルスの影響により予定日を延期し、その後早期の終息は見込めなかったため書面（メール等のやりとり）にて行いました。

また、第63回群像新人評論賞は、「群像」2019年12月号で発表したとおり、以下のように決定しています。

◆第63回群像新人評論賞

【選考委員】東浩紀・大澤真幸・山城むつみ（五十音順・敬称略）

当選作 なし

第63回群像新人文学賞優秀作「四月の岸边」ならびに選評は、「群像」7月号（6月5日発売）に掲載いたします。